

男鹿 自作ロボの性能競う

県高校大会 4チームが全国へ

県高校工業クラブロボット競技大会が1日、男鹿市の男鹿工業高校で開かれた。8校から11チームが出場し、生徒たちが自作したロボットの性能を競った。

大会は、全国の産業高校生が学習成果を発表する「全国産業教育フェア」で行われる全国高校ロボット競技大会の県大会を兼ねる。競技では3

分間で2機のロボットを連携させて動かし、コース上に置かれたテニスボールや卓球の球、メガホンなどを指定の場所に運び、その数などで得点を競った。

今年のフェアは栃木県で10月に開催される予定で、ロボットの競技課題は日光東照宮のイメージ。積み重ねたメガホン出場する。(藤田祥子)

のシャトルは流鏑馬の矢に見立てた。

優勝した横手清陵高校メカ

トロ部の麻生泰希部長(3年)

は「ボールを多く一気に取り

る仕組みを作れたのが大き

い。練習では(競技課題を)

完璧にこなせていたが、本番

では緊張のためか、なかなか

うまくいかなかった。全国大

会までに練習を重ねたい」と

話した。

全国大会には優勝した横手

清陵、準優勝の大曲工、3位

の秋田工、4位の能代科学技

術が出場する。(藤田祥子)



自作ロボットの性能を競った県高校工業クラブロボット競技大会